

# イタリア GT エンデュランスカップ 2022 チャンピオン獲得！

2022 年 10 月 27 日

- Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



Stilo

## Introduction

9 月 16~18 日、イタリア GT 選手権・エンデュランスカップ (CIGTE) の 2022 年シーズンファイナーレとなる第 4 戦モンツァが、イタリアのミラノにほど近いモンツァ・サーキットで開催された。

前大会では重たいサクセスハンディキャップを抱えつつも表彰台圏内を走行。しかしここモンツァでより有利な状況で戦うことを最優先とし、戦略的に 4 番手を選ぶことでより少ないハンディキャップで今大会を迎えた。今大会は+15 秒となったが、チャンピオンシップ上のライバルである 63 号車や 55 号車も+15 秒~20 秒のハンディキャップを抱えており、実質的に平等な戦いができることとなった。

単独のポイントリーダーとして迎えた今大会は、ベレッタ選手がアメリカ・インディアナポリスで同週末に開催されるインディ 8 時間耐久レースへ参戦することとなったため、レギュラードライバーであるリベラティ選手と根本の二人で 2 時間のレースを戦うことに。ランボルギーニ側としてはファクトリードライバーを投入してチャンピオン獲得をより確実にするという構想もあったようだが、ビンチェンツォ監督の強い希望があり、レギュラードライバーの二人で戦うこととなった。

発行 BORDERLESS LLC.  
(合同会社ボーダーレス)  
〒124-0022  
東京都葛飾区奥戸 8-29-14  
インセル葛飾 F 号室



## - Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



Stilo

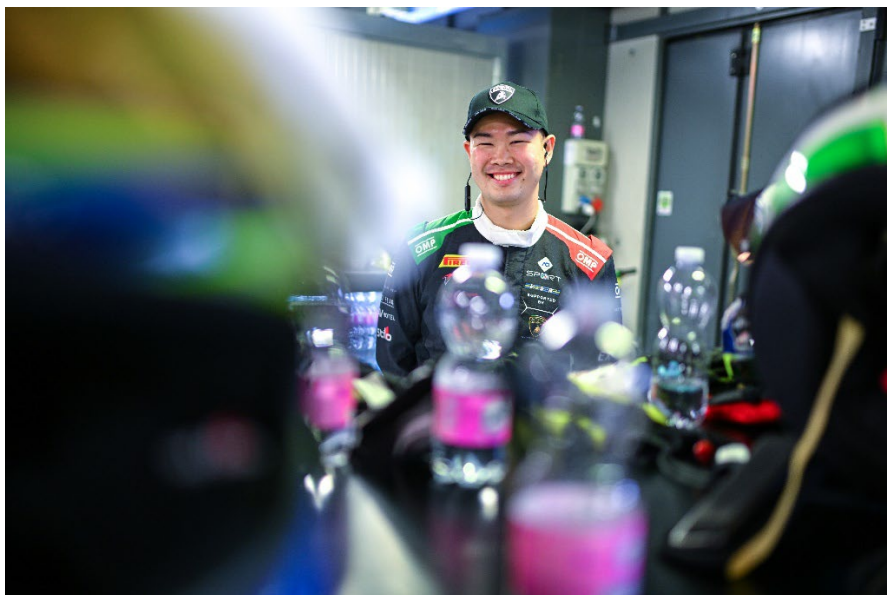
発行 BORDERLESS LLC.  
 (合同会社ボーダーレス)  
 〒124-0022  
 東京都葛飾区奥戸 8-29-14  
 インセル葛飾 F号室

■Qualify : 1<sup>st</sup>

現地時間 8 日 17 時 05 分、気温 23 度、路面温度 24 度というまさに予選アタック日和なコンディションの中、決勝のスターティンググリッドを決する公式予選が行われた。イタリア GT エンデュランスカップでは 3 名のドライバーがそれぞれアタックし、3 名の記録したベストタイムの合計で決勝のスターティンググリッドが決定される。

今大会 19 号車は 2 人のドライバーで戦っているため、どちらかのドライバーが予選を 2 回戦う必要がある。チームの事前ミーティングで検討を行ったが、どちらのドライバーも十分に仕事をこなせるという監督の判断から、コイントスで決めることに。結果根本が Q1 を担当、リベラティ選手が Q2 及び Q3 を担当することとなった。イタリア GT では各予選のインターバル中のセットアップ変更が許されているため、根本は Q1 アタックをこなすだけでなく、その後の Q2 及び Q3 に向けてセットアップの変更が必要かどうかを判断するのも大きな仕事だ。

前大会で 1 セット新品タイヤを温存したことで、計 5 セットの新品タイヤを確保することができた 19 号車。ハイレベルな戦いが予想される予選で新品 3 セットを投入し、決勝はユーズドタイヤ→新品→新品というオーダーで挑むこととなった。



- Sponsors -



サポートレースでの度重なる赤旗により開始が遅れ、現地時間 17 時 38 分頃グリーンフラッグが振られ Q1 が始まると、根本は他車の状況を見つつ 5 分ほど経過した 43 分にコースイン。選手権は異なるが、同コンパウンドを使用する GT ワールドチャレンジでの経験を活かしたタイヤのウォームアップをこなすと、計測 1 周目から 1 分 48 秒 109 という好タイムをマーク。続く 2 周目、タイヤのピークグリップが得られるこのラップでトップに躍り出るべくアタックを開始した根本だったが、1 コーナーでダウンシフトができない一時的なトラブルに見舞われ、止まり切れずオーバーシュート。ショートカットを使用しノーダメージでコースへ戻ったが、ベストなアタックチャンスを失ってしまう。

ギアボックスへの不安を抱えつつも、これはブレーキング時の路面の凹凸に起因するトラブルではないかと仮説を立てた根本は翌周にライン取りを変更することでこれを回避。まずは順当なアタックを行い 1 分 47 秒 384 をマーク。これも十分に良いラップタイムではあったが、セッション終了間際にこれを上回る 1 分 47 秒 098 を記録し、暫定トップに躍り出た。

続く Q2 ではリベラティ選手が根本とほぼ同タイムとなる 1 分 47 秒 080 を記録しこちらもトップ通過を果たす。迎えた Q3 では最終セクターでタイムをまとめるのに苦労したものの、最終的に 2 番手タイムを記録。3 セッションの合計タイムで 2 位に入った 63 号車を 0.381 秒引き離し、根本リベラティ組の 19 号車がポールポジションを獲得した。



◆Campionato Italiano GT Endurance - Monza  
round 4 - Qualifiche  
<https://youtu.be/yoTgZwWpto4>



◆【CIGT】イタリア GT エンデュランスカップ  
第 4 戦 モンツァ 予選 【公認】ミラーライブ配信!!  
[https://youtu.be/YI9tI\\_MNdKs](https://youtu.be/YI9tI_MNdKs)

発行 BORDERLESS LLC.  
(合同会社ボーダーレス)  
〒124-0022  
東京都葛飾区奥戸 8-29-14  
インセル葛飾 F 号室

- Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



発行 BORDERLESS LLC.  
(合同会社ボーダーレス)  
〒124-0022  
東京都葛飾区奥戸 8-29-14  
インセル葛飾 F号室



■ Race : 1<sup>st</sup>

2時間の決勝は直前にサーキットへ降り注いだ雨の影響で、ウェットタイヤかドライタイヤのどちらか正しい方をスタートタイヤとして選択しなければならないという難しい状況に。エドアルド選手はレコンサンスラップで路面状況を再確認し、ドライタイヤを選択。結果的にメルセデスの2台を除く全車がスリックタイヤを装着してレースが開始されることとなった。

実は今大会、決勝前にまさかの事態がエドアルド選手を襲っていた。前日に行われた予選後に急性腰痛症を発症してしまったのだ。これにより経ち続けることすらままならない状況に陥っていたが、今大会は不運なことにミケーレ選手が不在のため、どうしても1スティントはエドアルド選手が走行する必要がある。急性腰痛症を抱えたまま迅速なドライバー交代を行うことはリスクが高いという判断から、エドアルド選手をスタートドライバーとし、レギュレーション上で許される最小スティント（30分）を担当させることとなった。これにより根本はその後の90分間をたった一人で走り抜くこととなり、フィジカル面で大きなチャレンジとなった。

**- Sponsors -****Thundercomm****FAV HOTEL****LOGI FLAG****Stilo**

発行 BORDERLESS LLC.  
(合同会社ボーダーレス)  
〒124-0022  
東京都葛飾区奥戸 8-29-14  
インセル葛飾 F号室

週末を通して初のウェット宣言が出されたため、レースはセーフティーカー先導のままスタート。タイヤが十分に温まった2周後にレースがスタートすると、エドアルド選手は腰の痛みから十分なブレーキ踏力を掛けることができず、1コーナーで果敢にチャレンジを仕掛けてきた63号車のハイツ選手に対して順位を失ってしまう。続く第2シケインに向かうストレートで圧倒的なスピードを持つ55号車NSXにオーバーテイクされると、シケインの立ち上がりではレインタイヤを装着した17号車のメルセデスに前を行かれ、オープニングラップを4番手で終えた。

本来のペースを発揮しきれないエドアルド選手はその後も徐々に前方の車両との差が広がってしまい、防戦一方という展開に。12周目にはペースの伸びない44号車と19号車をまとめてオーバーテイクしようとした20号車に押し出される形で1コーナーを飛び出してしまう。そのまま6号車にも前を行かれ、7番手まで順位を落とした。

快調なペースでトップを行く55号車からは30秒以上もの遅れをとったが、何とかマシンをコース上に留めてくれたエドアルド選手。予定していた30分のスティントを終えるとすぐにピットイン、根本へとドライバー交代を行った。



**- Sponsors -****Thundercomm****FAV HOTEL****LOGI FLAG****stilo**

発行 BORDERLESS LLC.  
(合同会社ボーダーレス)  
〒124-0022  
東京都葛飾区奥戸 8-29-14  
インセル葛飾 F号室

クルマを受け継いだ根本は新品タイヤのメリットを存分に活用しつつ猛追を開始。残り90分あるとはいえ、トップからは約30秒遅れをとってしまっているため、1秒のロスも許されない状況となった。まだサーキット上にはところどころ濡れている場所があったが、過去のレースでの経験も活かし順当に前方の車両との差を縮めていった。全車のピットストップが完了し、総合4番手まで順位を回復していた根本は27周目に3番手を走行していたチームメイトの66号車を1コーナーでオーバーテイク。表彰台圏内へ上がったところで、GTカップクラスの332号車がクラッシュ。車両回収のためにセーフティーカーが導入され、これまであった差が一気に無くなり、優勝の可能性が現実的なものとなった。

31周目にリスタートとなったが、2番手を走行する63号車のミケロット選手との間にいた2台のカップカーとプロアマクラスを戦う99号車NSXが再スタートで失速。トップグループと大きく差が開いた状態でのリスタートとなってしまう。このままタイムを失うわけにはいかない根本は、なんと第一ヘアピンで3台まとめたオーバーテイクに成功。最小限のタイムロスでトラフィックを処理し、ミケロット選手に追いつくべく猛追を開始した。



## - Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



Stilo

発行 BORDERLESS LLC.  
 (合同会社ボーダーレス)  
 〒124-0022  
 東京都葛飾区奥戸 8-29-14  
 インセル葛飾 F号室

レースが後半に入ると、トップ二台が激しいバトルを展開する間にファステストラップを連発しながら追い上げる。トラフィックを処理しミクロット選手の真後ろに迫ると、55号車がピットインし前方が開けたミクロット選手もペースアップし根本と1秒差をキープしながら付かず離れずの展開に。二度目のピットウィンドウが開くと、66号車を駆るコーラ選手がまずピットイン。マッティア選手と根本はどちらが先にピットインするか注目されたが、前方を行く63号車に優先権が与えられ、41周目にピットイン。根本はこの間にオーバーカットを狙うべく猛チャージの末、翌周ピットインを実施した。

チーム、実況陣そしてファンの全員が根本のピットアウトに注目したが、根本は無事オーバーカットを成功させ、63号車を駆るバッシュ選手の前でコースへ復帰することに成功する。しかし既に温まったタイヤを履き、最後のチャンスとばかりに果敢にアタックを仕掛けてくるバッシュ選手を従えた根本。ここは冷静な走りで第1シケイン、第2シケインを通過すると、第2シケインで縁石を大きく乗り越えてしまったバッシュ選手にギアボックス関連のトラブルが発生。残念ながら63号車はここでリタイヤとなってしまい、車両回収のために三度目のセーフティーカーが導入されることとなった。



## - Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



stilo

発行 BORDERLESS LLC.  
 (合同会社ボーダーレス)  
 〒124-0022  
 東京都葛飾区奥戸 8-29-14  
 インセル葛飾 F号室

圧倒的なストレートスピードを誇る 55 号車が真後ろに控える状況でのリスタートとなり、1 コーナーまでのオーバーテイクされてしまう懸念があったが、リスタート時にウィービングを使った技で凌いでみせた根本。しかしすぐに第 2 シケインで別のクラッシュが発生してしまったことで再びセーフティカー先導となってしまった。

51 周目、残り時間 7 分 20 秒でレースが再開されると、ここでも抜群の加速を見せた根本はすぐに後方を走る 55 号車と約 1.5 秒のギャップを構築。その後は 63 号車にトラブルが発生したということも考慮し、リスク管理をしつつプッシュし過ぎない走りに切り替え、チェッカーフラッグまで無事にマシンを運びきった。

これにより根本/リベラティ組は最終戦プロクラス優勝、そして 2022 年のイタリア GT エンデュランスカップのタイトルを獲得した。



根本にとっては 2020 年のイタリア GT スプリントでのタイトル獲得に続いて欧州 GT で 2 度目の選手権制覇となった。ランボルギーニ・スクアドラ・コルセのファクトリードライバー昇格という目標に向け、ジョルジオ・サンナ氏から課せられた仕事をしっかり遂行して見せた。



- Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



stilo



◆Campionato Italiano GT Endurance - Monza  
round 4 - Gara

<https://youtu.be/JkVwNGL5DOE>

◆【CIGT】イタリア GT エンデュランスカップ  
第4戦 モンツァ 決勝 【公認】ミラーライブ配  
信!!

<https://youtu.be/VhbYe-fmAVE>



## ■根本コメント：

発行 BORDERLESS LLC.  
(合同会社ボーダーレス)  
〒124-0022  
東京都葛飾区奥戸 8-29-14  
インセル葛飾 F号室

「今シーズン共に戦ってきたベレッタ選手の不在、予選後のリベラティ選手の腰痛、そしてレース直前の雨など、数々の不運に見舞われた週末でした。そんな中でも、日頃から意識している“与えられた環境の中でベストを尽くす”というスタンスを貫き、最終的に優勝することができてとても嬉しく思います。最初のスティントでリベラティ選手がトップから30秒遅れてしまった時はさすがの自分も焦りましたが、焦ることなく自分の仕事に集中することができました」

- Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



Stilo

発行 BORDERLESS LLC.  
(合同会社ボーダーレス)  
〒124-0022  
東京都葛飾区奥戸 8-29-14  
インセル葛飾 F号室

「ファクトリードライバー昇格を目指す中で、今シーズンのイタリア GT はランボルギーニ社からのサポートを得て参戦していることもあり、タイトル獲得が至上命令という重圧を感じながら一年間戦ってきました。開幕戦ベルグサでのトラブルはあったものの、最終的に2回のポールポジション、4戦中3戦でのファステストラップ獲得、優勝2回、2位1回という結果で、速さと強さをしっかりジョルジオ・サンナ氏にアピールすることができたのではないかと思います」

「今シーズン根本悠生を応援して下さったスポンサー様、ファンの皆様。本当にありがとうございました。イタリア GT チャンピオン獲得という結果を皆様にご報告できることをとても嬉しく思います。来年以降も引き続き、国内外で活躍する GT ドライバーとして更に上を目指し、日本人初の欧州自動車メーカーのファクトリードライバーという夢に向かって全力で戦ってまいります。2023 シーズンも根本悠生を何卒宜しくお願い致します」



本件に関するお問い合わせは [info@borderless-motorsports.com](mailto:info@borderless-motorsports.com) まで